

課題学習に関するアンケート集計・分析

愛媛県立今治南高等学校 矢野 大志

1 はじめに

数学では、平成24年から先行実施となった学習指導要領は、今年度で6年目が終了となる。数学I・数学Aにおいて課題学習を実施することとなり、各校の実情に合わせて取り組まれている。今回、各校の取組についてアンケートを実施した。平成25年度に実施したアンケート結果と比較しながら分析することで今後の課題学習の一助となればと考えた。

2 アンケートの内容

平成29年9月に県内の高等学校や中等教育学校に対してアンケート調査を行った。前回のアンケートと比較できるように調査項目を次の内容で行った。

(1) 実施のタイミング・時期について

- ①各単元の導入前
- ②各単元の終了後
- ③授業に即して実施
- ④教科書終了後
- ⑤その他

(2) 実施時間数について

- ①1時間
- ②2時間
- ③3時間
- ④4時間
- ⑤5時間以上
- ⑥その他

(3) 課題の設定について

- ①教員が設定
- ②生徒が設定
- ③その他

(4) 実施形態について

- ①生徒個人の単独での活動
- ②グループなどの班別活動
- ③クラス全体共通での活動

(5) 実施分野について

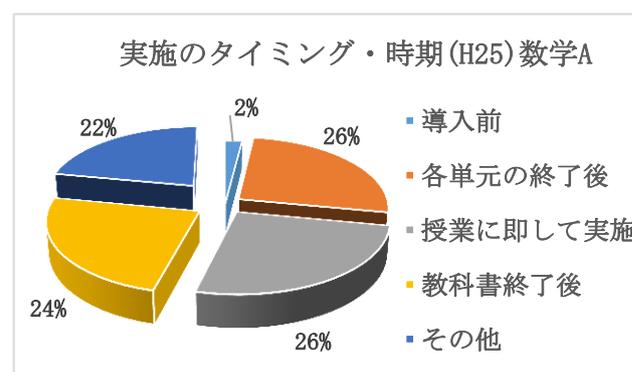
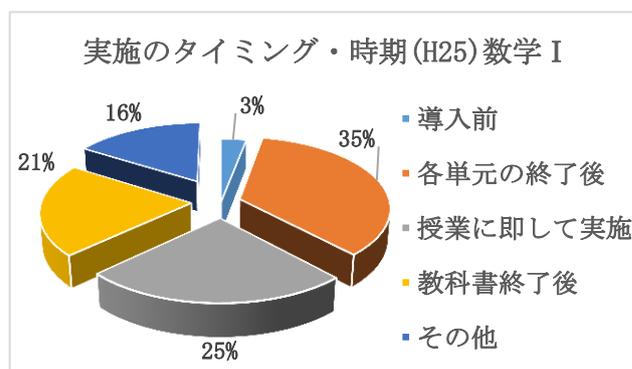
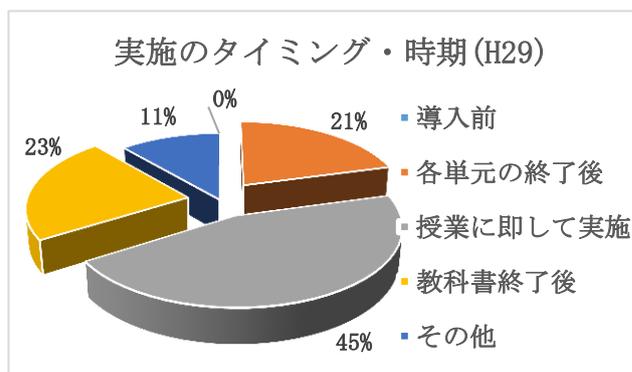
- | 数学I | 数学A |
|---------|----------|
| ①数と式 | ①場合の数と確率 |
| ②2次関数 | ②整数の性質 |
| ③図形と計量 | ③図形の性質 |
| ④データの分析 | ④その他 |
| ⑤その他 | |

(6) 実施内容について

数学I、数学Aの各分野に関係する内容について過去のアンケートを参考にして選んだ。

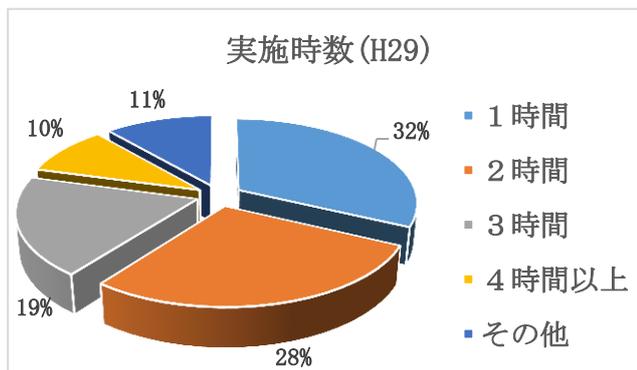
3 アンケートの分析

(1) 実施のタイミング・時期について

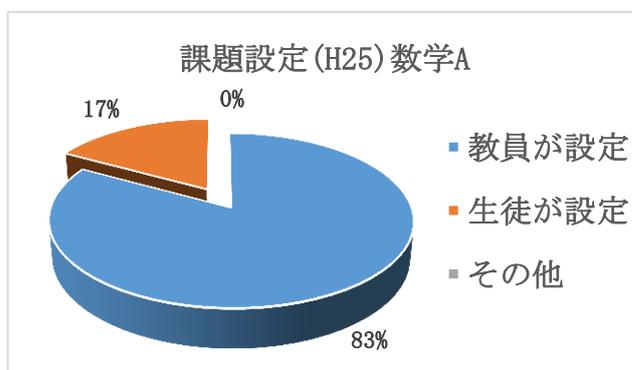
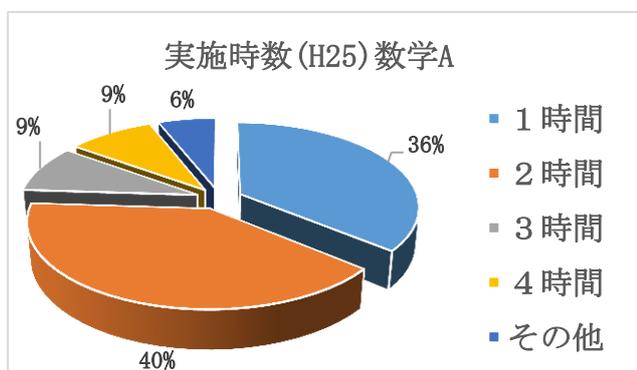
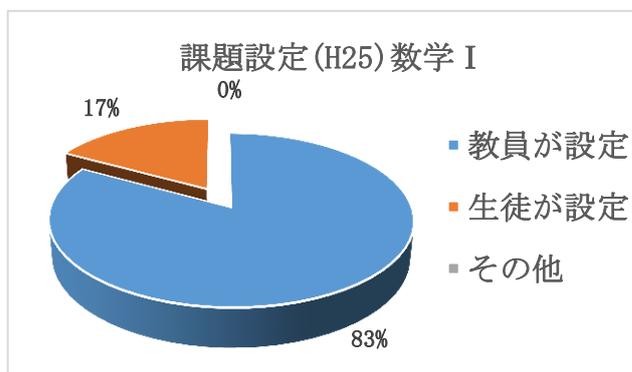
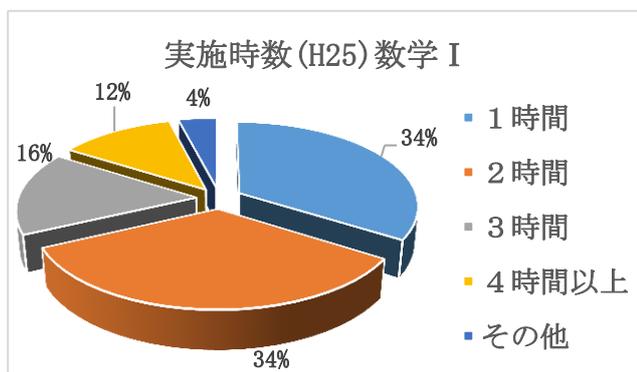
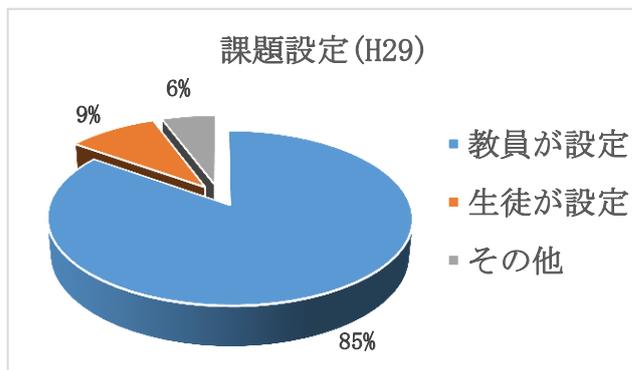


今回のアンケートでは授業に即して実施されている学校が約半数と最も多かった。前回のアンケートでは、導入前に実施されている学校があったが、今回のアンケートでは0であった。実際に課題学習を実施していく中で変化していったようである。課題学習を導入前に実施するには、準備や活動内容等で難しい面があるためではないかと思われる。

(2) 実施時間数について



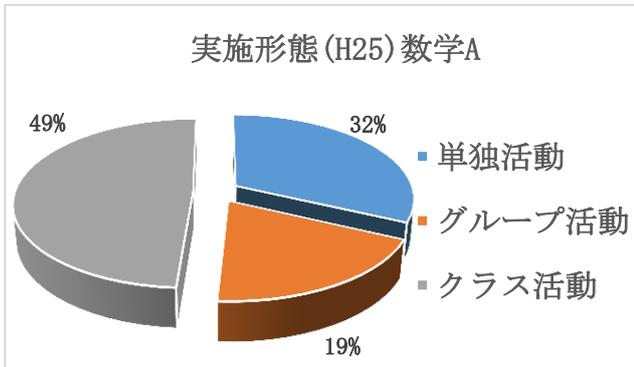
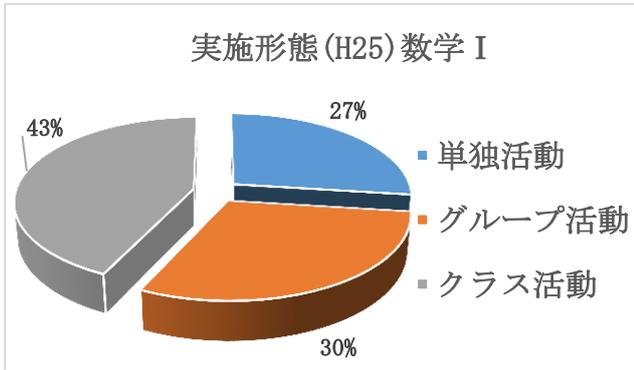
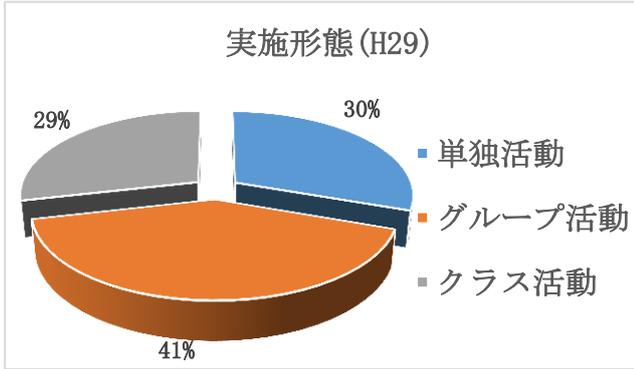
(3) 課題設定について



前回のアンケートでは実施時数が1・2時間の学校が全体の約70～75%であったが、今回のアンケートでは約60%に減少し、3時間以上とその他の割合が増加している。これは、各校で課題学習について研究され、実情に合わせた取組が行われているからだと思われる。実施時間が3時間以上の割合が増加した理由は、生徒の活動時間を多く取り入れて行う課題学習を行っているためではないかと考えられる。その他の割合が増加した理由は、長期休業中などにレポート形式で実施する課題学習が増加したためと考えられる。また、レポート形式の場合でも、クラスで発表会等を行うなどの方法をとっている場合もある。

課題の設定方法については教員が設定する学校がほとんどである。生徒が設定する場合はレポート形式等で生徒自身が興味のある内容について研究するという形が多いようである。今回のアンケートでは、教員が選んだいくつかのテーマの中から生徒が選んで研究するという形も見受けられた。

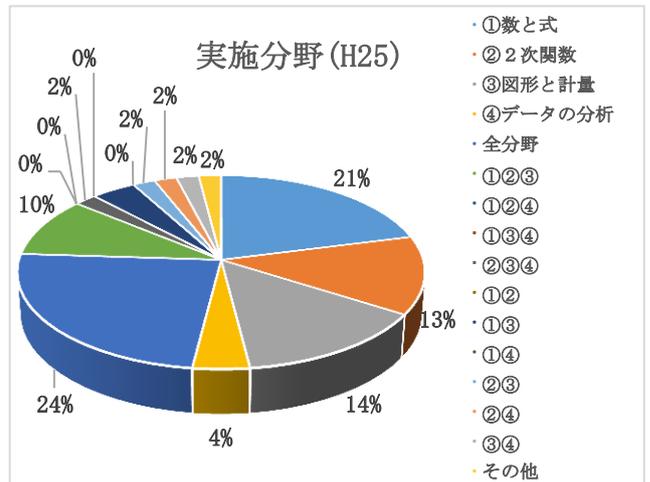
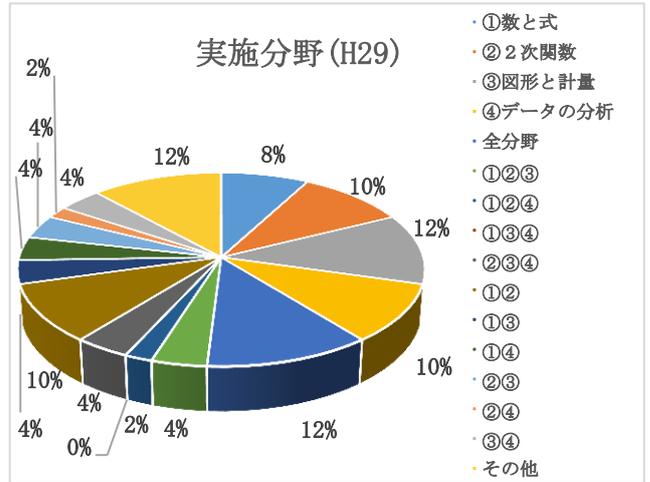
(4) 実施形態について



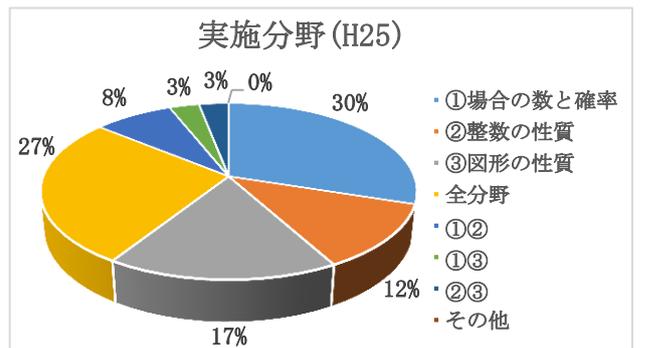
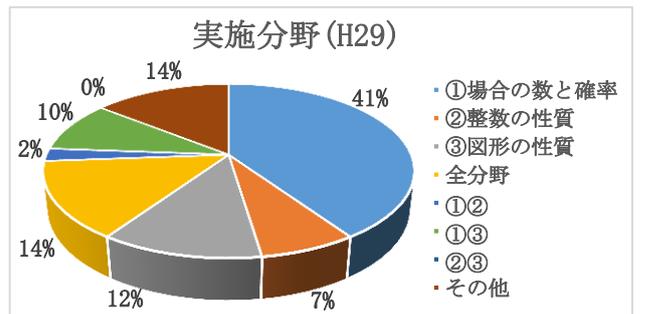
実施形態はクラス活動が減少し、グループ活動が増加している。これは(2)の実施時数と関係があり、課題学習が、教員主導で1時間完結の形が減少し、生徒の活動時間を多くとる形が増加したからではないかと思われる。

(5) 実施分野について

ア 数学 I



イ 数学A



(6) 実施内容について



他にも、同様に確からしいとは、席替えについて、図形の面積と2次関数などの回答があった。また、(5)の実施分野とあわせて、生徒が興味を持った内容について行っているとの回答もあった。

4 おわりに

平成25年度と平成29年度のアンケート結果を比較することで、課題学習の実施方法が各校の実情に合わせて年々工夫されていると感じた。前回のアンケートでは、教科書の巻末教材を用いて1分野を1時間程度で実施する傾向が強く出ており、課題学習に対して苦慮されている実態があった。しかし、今回のアンケートでは実施時数も増加し、実施方法や内容も各校によって様々であった。これは、生徒の実態に適した教材選びや教材作成を行うなどのよりよい実践を積み重ねた結果であると感じた。

最後に、お忙しい中、快くアンケートに御協力いただきありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。